

電子版センターだより



Gunma Prefectural Education Center

群馬県総合教育センター - No.21 -

平成31年2月28日(木)配信

< 掲載内容 >

	頁
1 ぐんま教育フェスタの紹介～ 共に学び 未来にはばたく ぐんまの子ども ～	1
2 第16回ぐんま教育賞 入賞者の紹介	5
3 平成31年度研修講座の主な変更点と 平成30年度教育研修員研修研究成果について	6
4 使おうICT! はじめようプログラミング教育!	7
5 特別支援教育の視点を生かした保育及び授業づくり	8
6 「保育アドバイザー派遣」について	9
7 自立支援アドバイザーの取組	10
8 総合教育センターへ来所される方へ	11

* 編集後記 *

ぐんま教育フェスタの紹介

～ 共に学び 未来にはばたく ぐんまの子ども ～

平成31年2月2日(土) 学校関係者及び一般県民を対象に「ぐんま教育フェスタ」を開催しました。今年度はテーマを「共に学び 未来にはばたく ぐんまの子ども」として、研究員と教育研修員による研究発表・研究概要展示、特別講演、参加者体験等の催しを行いました。教育フェスタ当日の様子を紹介します。

1 オープニング及びぐんま教育賞表彰式



オープニング

オープニングは、群馬県教育委員会教育長、群馬県議会文教警察常任委員会委員、群馬県議会議員、ぐんま教育賞選考委員をはじめ、多くの皆様をお迎えし、盛大に行うことができました。

また、オープニング終了後、「第16回ぐんま教育賞表彰式」を行いました。「杉の子賞」を5名の教職員が受賞されました。

2 特別講演

演題「開け！未来の扉を」

講師 前橋育英高等学校長(兼 男子サッカー部監督) 山田 耕介 氏



特別講演

全国大会の常連校へと育て上げ、昨年度の全国高校サッカー選手権大会で全国制覇を成し遂げられた山田先生に、人材育成についてお話しいただきました。

講演を通して、困難な状況や場面をチャンスと捉え、逆境を乗り越え前進しようとするたゆまぬ努力の先に大きな飛躍があるのだということ、そのために子供たちに諦めない心を養う指導の必要があることについて、具体的なエピソードを交えながら、分かりやすくお示しいただきました。

～参加者の声～

参加者からは「教育へのビジョン、情熱など、大変刺激になりました」「感動しました。熱い思いが、不可能を可能にすることを、改めて実感することができた講演会だったと思います」などの感想が多数寄せられました。また、講演を通して山田先生のお人柄やお考えに触れ、多くの学びとともに、大きな感動を味わえたことが伝わってきました。

3 研究発表・研究概要展示

研究員、長期研修員、長期社会体験研修員の研究発表と、特別研修員の研究概要展示を行いました。



研究員の研究発表



研究員の研究発表



長期研修員の研究発表



長期社会体験研修員の研究発表



特別研修員の研究概要展示

～参加者の声～

新しい発見があり、大変勉強になりました。たくさんの教科、分野の情報があって有意義でした。
後日Webページからダウンロードできるようになることを楽しみにしています。
発表や資料の内容が、学校で生かせるので参考になります。
子供の実態の捉え方や、実態を踏まえて指導する内容を考えることの大切さが分かりました。

4 参加者体験・展示

【特別支援学校の作業学習製品展示販売】



特別支援学校6校による展示・販売

特別支援学校6校が参加し、生徒による作業学習製品の展示・販売を行いました。ハーバリウム、クッキー、鹿革や布製品、陶芸品、木工品など、様々な製品を多くの来場者に購入していただきました。

～参加者の声～

毎年、楽しみにしています。クオリティの高さに驚きました。来年も購入したいです。(参加者)

完売目指して頑張ります。他校の製品を購入しました。

かわいいので部屋に飾ります。(参加生徒)

【専門高校による「そば打ち体験」】



そば打ち体験コーナー

そば打ち名人の専門高校生たちの指導の下、来場した方々がそば打ち体験をしました。高校生の高い技術と手際よさに、体験をする人やギャラリーから感嘆の声が上がりました。

～参加者の声～

説明と実技指導がとても分かりやすく、そのおかげでそばを完成させられました。

そば打ちは難しいと聞いていたけど、手厚いフォローがあって作れました。とてもよい経験でした。

【小学校プログラミング教育の教材体験】



教材展示やワークショップの様子

小学校プログラミング教育の教材展示やワークショップなどを通して、参加者は三つのプログラミング教材(アンプラグド、ソフトウェア、ロボット)を体験し、プログラミング的思考について理解を深めました。

～参加者の声～

具体的な体験ができ、プログラミング的思考について理解できました。

コンピュータを使わないで行うプログラミング教育の授業づくりや教材の活用方法が分かりました。

【メンター研修の実際】



研修コーディネーターの発表

初任者研修（校内における研修）におけるメンター研修の概要と成果について、調査研究協力校の研修コーディネーターによる発表を行いました。主な内容は、次の2点でした。

メンター研修の進め方とメンバーの構成
メンター研修の具体的な取組についての実践発表

～参加者の声～

指導技術の伝承にメンター研修が必要だと感じました。導入は意外に容易だと感じました。

【特別支援教育教材・支援機器等展示】



音声付き教科書の体験をする参加者

子供の苦手さを支援する文房具や教材、関係書籍の展示とともに、音声付教科書やノイズキャンセリング耳栓、読み書きの学習支援ソフトの体験をしていただきました。

～参加者の声～

音声付教科書って、ペンをタッチするだけで読んでくれるんですね。

最近は進んでいるんですね。すごいですね。

【豊かな心を育む絵本の世界】



読み聞かせワークショップ

「せかいのえほん」をテーマに、県立図書館から借出した約190冊の絵本を展示して紹介しました。読み聞かせワークショップでは、講師の金子節子先生から、作品の生み出された背景などを含め楽しいお話をいただきました。

～参加者の声～

講話の中で紹介された、絵本に心の傷を癒やされ、生きる希望を見いだした大学生の話に感動しました。絵本のもつ力の大きさを再確認しました。

その他にも、在外教育施設の紹介、「統計グラフ群馬コンクール」入賞作品展示、「校旗を作ろうプロジェクト」展示・紹介等を行いました。

今年度は、これからの教育のヒントを得られるような内容を目指すとともに、県内の教育に関わる多様な取組に触れていただけるようなプログラムを盛り込みました。それぞれの会場では、紹介された内容を食い入るように見つめたり、考えを話したり、夢中で体験活動に取り組んだりする姿が見られ、大いににぎわいました。当日は、1,000名近い来場者を迎え、ぐんまの教育の在り方について考えるよい機会となりました。

第16回ぐんま教育賞 入賞者の紹介

本年度は「杉の子賞（教職員の部）」17編の中から、最優秀賞1編及び優秀賞3編を決定しました。最優秀作品の概要について紹介します。

最優秀賞

正しい姿勢を保持することができる児童の育成 ～全校で取り組む姿勢指導を通して～

長谷川 久美子（邑楽町立中野東小学校）

概要

姿勢に関するアンケート調査により、大半の児童が正しい姿勢を保持できないことが分かった。本実践では、全校でロコモ体操や清掃活動を工夫した体幹運動を行った。その結果、児童の体幹が鍛えられ、関節が柔らかくなった。また、姿勢に関心を持つ児童が増え、ケガでの来室状況が減少した。全職員、家庭との連携で取り組んだ日々の積み重ねによる成果と考えられる。本論文は、本校で行った姿勢指導の実践である。



表彰式の様子

優秀作品3編について紹介します。

優秀賞

科学や工学のおもしろさを知り、ものづくり産業を支える生徒の育成 社会に開かれた教育課程編成・実施に向けて、 官学連携（サイエンスドクター）を活用した地域との協働を通して

藺田 晃司（桐生市立清流中学校）

基準量を求める割合問題の処方箋

～割合を比例の考えでとらえ直す学習指導～

樋口 孝行（太田市立藪塚本町中学校）

農業教育における地域で活躍できる職業人材の育成

～動物科学コースの特色ある教育活動を通して～

山口 愉隆（県立吾妻中央高等学校）

横山 貞治（ " " ）

入賞作品の詳細は、Webページをご覧ください。【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=183 】

平成31年度研修講座の主な変更点と 平成30年度教育研修員研修研究成果について

平成30年度に引き続き、国や県の動向、「群馬県教員育成指標」を踏まえ、今日的な教育課題に対応した研修を実施します。併せて、教職員の多忙化解消、業務の適正化に対応した改善を図ります。

< 研修講座の主な変更点 >

基幹研修では...

- ・3年目経験者研修の対象年次を4年目に移行し、「4年目経験者研修」として実施します。対象は小・中学校教員です。
- ・「中堅教諭等資質向上研修」の対象年次を11年目に移行して実施します。対象は小・中学校、高校、中等教育学校、特別支援学校の教員と養護教員、実習教員です。

指定研修では...

- ・「高校道徳教育・主権者教育実践研修」を「高校道徳教育実践研修」「高校主権者教育実践研修」に拡充します。
- ・「特別支援学校・特別支援学級等新任者研修」を「特別支援学校新任者研修」「特別支援学級新任者研修」「通級指導教室新任者研修」に拡充します。

希望研修では...

- ・平成30年度は指定研修として行った「新任小学校生徒指導主任研修」を希望研修「小学校生徒指導力研修講座」に移行します。
- ・「カリキュラム・マネジメント推進研修講座」を新設します。
- ・「学校組織マネジメント推進研修講座」を新設します。

研修講座の詳細は、3月に配付する講座案内及び当センターWebページをご覧ください。

< 平成30年度教育研修員研修研究成果について >

平成30年度教育研修員研修（長期研修・長期社会体験研修・特別研修）の研究成果を当センターWebページに掲載します（3月下旬予定）。

研修員が、今日的な教育課題の解決に向け努力した1年間の成果がぎっしりと詰まった報告書や、日頃の授業や学級経営に生かせる資料等を掲載します。是非ご覧ください。

The screenshot shows a website interface with several navigation buttons. The button for 'Education Researcher Training' (教育研修員研修) is highlighted with a red circle. Below the buttons, there is text indicating that users should click this button from the top page of the center's website.

当センターWebページのトップページから
「教育研修員研修」ボタンをクリック

詳しくはWebページをご覧ください。【 <http://www.nc.center.gsn.ed.jp/> 】

使おうICT！はじめようプログラミング教育！

新学習指導要領では、情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」としています。また、学習指導要領要領解説総則編においては、情報活用能力を各教科等の適切な学習場面で育み、発揮させることによって主体的・対話的で深い学びにつながっていくことが一層期待されています。

各教科等の学習場面で、情報活用能力を育むための指導力向上をねらいとして、来年度は次のような研修講座を企画しています。

ICT活用指導力向上研修講座

受講者のニーズに合わせて、4種類のコースから選択することができます。

対象	主な内容
タブレット端末を初めて操作する方	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windowsタブレットの基本操作 <ゼロから始めるタブレット端末コース1> ・ iPadの基本操作 <ゼロから始めるタブレット端末コース2>
タブレット端末を授業で活用でき、さらに効果的に活用したい方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業実践事例の紹介、授業構想や模擬授業を取り入れた実習 <タブレット端末活用実践コース>
校務で表計算ソフトのマクロ機能を利用したい方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトのマクロ機能の操作 <校務におけるICT活用コース>
動画の教材を作成したい方	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションソフトやiPadで動画教材を作成する実習 <動画教材作成コース>



小学校プログラミング教育研修講座

プログラミング教育の授業体験を中心に、2日間で研修を行います。

- | |
|--|
| 1日目・・・全国の実践事例や指導についての講義
授業体験（基本編）、授業の構想 |
| 2日目・・・授業体験（発展編）
指導の在り方についての講義 |

授業体験は三つの教材を扱います。

アンブラグド コンピュータを使わずにプログラミング的思考を学ぶ教材

ソフトウェア（ビジュアルプログラミング）

コンピュータを使い、視覚的なオブジェクトでプログラミングし、コンピュータの中のキャラクターなどを動かす教材

ロボット

コンピュータを使い、視覚的なオブジェクトでプログラミングし、外付けのロボットを動かす教材



日程等の詳細は、3月に配付する講座案内及び当センターWebページをご覧ください。主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりを、共に考えてみませんか？

特別支援教育の視点を生かした保育及び授業づくり

平成29年度には、通級による指導を受ける児童生徒数が初めて10万人を超えました（文部科学省調べ）。新たな幼稚園教育要領解説、学習指導要領解説には、生活上や学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫が示されました。これらの工夫を行うことは、障害のない幼児児童生徒の教育の充実にもつながります。

特別支援教育センターでは、当センター経験者研修受講者に対して実施したアンケート結果と研究協力校による授業実践を踏まえ、指導資料第30集「特別支援教育の視点を生かした全ての子供が活躍できる保育及び授業づくり - 学級担任と通級による指導担当教員との連携を活用して - 」を作成しています（3月末発行予定）。今回は、その概要版の主な内容について紹介します。

・県内の現状

アンケート結果から、特別支援教育の視点を生かした保育及び授業づくりでは、全体への指導と個に応じた指導とのバランス、個に応じた指導の内容・方法、周囲の子供の理解、教員間の連携という四つの課題が明確になりました。

・課題の解決に向けて

全ての子供が活躍できる授業づくりのイメージは、図1のように考えられます。全ての子供にとって分かりやすい指導が充実することで個に応じた指導が焦点化され、全体と個への指導をバランスよく行えることがポイントです。

指導資料では授業を行う際の環境整備や授業の流れに沿った具体的な指導の工夫を掲載します。

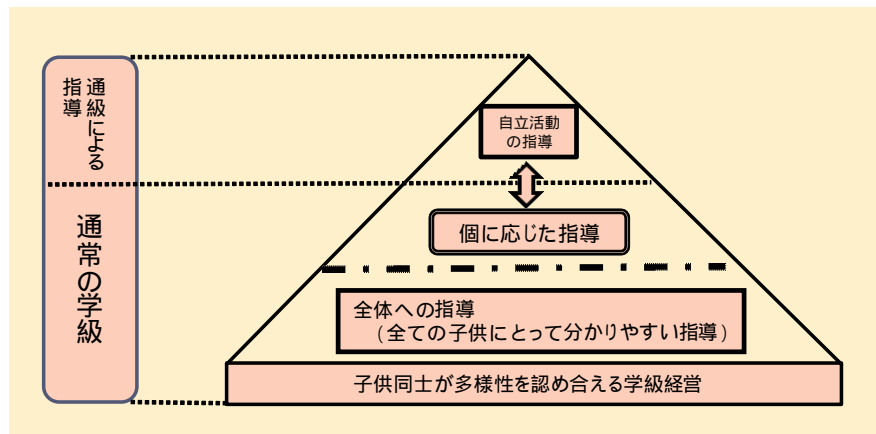


図1 全ての子供が活躍できる授業づくりのイメージ

・通常の学級と通級による指導の連携～研究協力校の実践より～

図2は、通級児童生徒を中心とした通常の学級と通級による指導の連携を表しています。

指導資料では、具体的な連携内容、個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用をはじめ、研究協力校の実践を踏まえた取組例を掲載します。

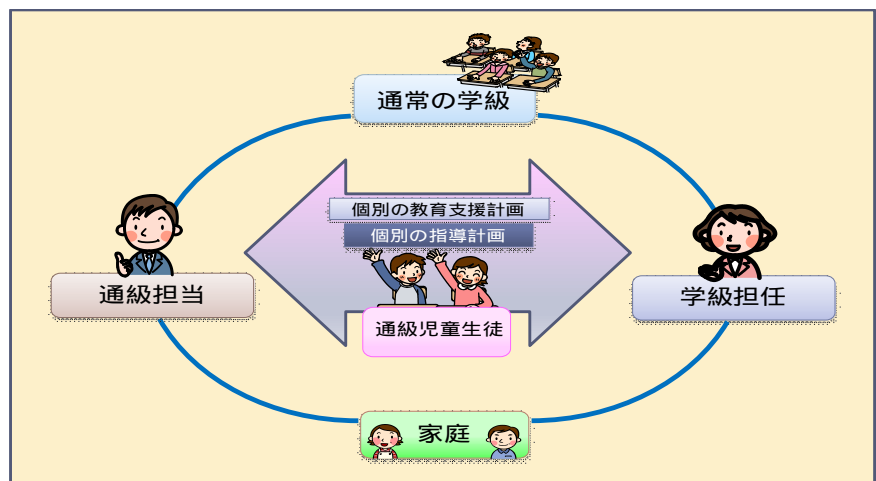


図2 通常の学級と通級による指導の連携

「保育アドバイザー派遣」について



幼児教育センターでは、幼児期の教育や家庭教育の充実を目指し、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、公民館の講演会や研修会等に、経験・知識ともに豊富な保育や教育の専門家である「保育アドバイザー」を講師として派遣しています。

「保育改善のヒントがほしい」「子育てについて保護者に分かりやすく伝えてほしい」「合同の研修会を開きたい」等、内容や方法など相談の上、皆様の要望にお応えしています。

今年度は、4,700人を超える参加がありました。実績の一部を掲載しますので参考にいただき、来年度の活用をご検討ください。皆様からのお申込みをお待ちしています。

- 園内研修・校内研修
- 講演会・各種研修会
- 保護者会・親子行事など



小規模な学校・園・所でも、お気軽に活用してください。

1 平成30年度の保育アドバイザー派遣の主なテーマ

保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援団体

《保護者・親子向け》

- ・子育ての楽しみ方 ~絵本を通して~
- ・遊びの中で芽生える思考力
- ・子どもの生活リズムと発達
- ・子どもに起こりやすい事故やけがとその予防法
- ・子育てに大切なこと~子供のよりよい成長を願って~
- ・幼児期に親としてできること
- ・親子のふれあい遊び
- ・親子で手遊びや読み聞かせを楽しもう

《教職員向け》

- ・新教育要領による幼児期にふさわしい教育
- ・新しい指導要録の記入の仕方
- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿~小学校との接続~
- ・特別な配慮が必要な幼児の保育
- ・保護者会に役立つ交流ゲーム
- ・職員の心と体をほぐすヨガ体操
- ・園内研修の充実に向けて
- ・子育て支援員の保護者対応について

学校

《保護者・親子向け》

- ・就学時検診時の「子育て講話」
- ・入学に向けて「保護者の役割」
- ・小学校生活のスタートに当たっての心構え
- ・子育て講話「家庭と学校で手を取り合って」
- ・今、子育てで大切にしたいこと
- ・発達障害のある子供の家庭での親の関わり方
- ・親子ふれあい運動教室

2 保育アドバイザー派遣の申込みについて

申込方法（来年度の受付は、4月から行います）

相談書提出：希望の日時や内容、講師などを電話で相談、もしくは相談書を提出

派遣依頼書提出：講師決定後、派遣依頼書を提出

実施報告書提出：派遣終了後、実施報告書を1週間以内に提出

保育アドバイザー派遣は、原則年間1回は無料です。

詳しくは、Webページをご覧ください。【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74 】

自立支援アドバイザーの取組

「いじめ対策・不登校支援等推進事業（文部科学省）」として、県教育委員会義務教育課や各教育事務所、市町村教育委員会と連携した取組を行っています。

活動状況は、以下のとおりです。

「配置型自立支援アドバイザー」の活動

今年度は、配置型自立支援アドバイザー 8 名が、前橋市（2 名配置）、渋川市、玉村町、吉岡町、館林市、みどり市、大泉町において適応指導教室や学校の支援を行いました。年間の勤務日が決まっていたため、計画的・継続的な支援を行うことができました。

「派遣型自立支援アドバイザー」の活動

当センターに配置された 2 名の派遣型自立支援アドバイザーは、社会福祉士の有資格者であり、福祉的な視点を取り入れながら適応指導教室が抱える様々な課題解決に向けた支援を行いました。業務内容については、以下のようなものがあります。

- ・ 適応指導教室に通室する児童生徒や保護者との面談
- ・ 適応指導教室における対応困難な事案に対する助言
- ・ ケース会議でのアセスメント
（様々な情報を基に総合的・多面的に判断し、見立てを行うこと）
- ・ 指導員の資質向上のための講義
- ・ 適応指導教室運営に関する情報提供 等

適応指導教室では

通室する児童生徒の活動の様子を参観したり、活動と一緒に参加したりして、行動観察を行うことで、指導員が抱える指導上の悩みの解消に向けた具体的な提案を行い、よりよい支援につなげることができました。また、通室する児童生徒の保護者との面談では、保護者の抱えている困り感に寄り添いながら、現状の確認をし、保護者の意向を聞き取り、今後の対応策と一緒に考えたりアドバイスを行ったりしました。長期的な視野から計画的、継続的な面談を行うことで、保護者との信頼関係を築くことができ、児童生徒への具体的で有効性のある支援につなげることができました。

子ども教育相談室では

様々な事情や課題を抱える相談者に対応する相談員の資質向上のため、相談者の抱える悩みの理解の仕方や、課題解決を意識した電話相談の在り方についての研修会を実施しました。具体的で実践的な対応が紹介され、日々の実践に生かせるものとなりました。

総合教育センター駐車場について

講堂棟 1 階部分は、伊勢崎合同庁舎（伊勢崎行政県税事務所・伊勢崎地区農業指導センター）が、業務を行っています。

総合教育センターの駐車場をご利用される際は、下記のとおり駐車をお願いいたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



* 編集後記 *

「電子版センターだより」第 2 1 号をお届けします。

年度末を控え、各学校・園ではご多忙のことと拝察いたします。

過日、当センターで開催された平成 3 0 年度ぐんま教育フェスタに、休日の開催にも関わらず、県内外から多くの皆様に来所いただき、ありがとうございました。

「1 月は行く、2 月は逃げる、3 月は去る」と申します。あっという間に新年度が始まりそうです。今年は、元号が変わるだけでなく、アジア初となるラグビーワールドカップの日本開催など、「新しい！」というワクワク感に包まれている気がします。当センターでも、新学習指導要領の本格実施に向けて、研修内容をますます充実させていきます。平成 3 1 年度もよろしくお願いいたします。

(文：M・N)